

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

111-634

事務事業名	南信濃観光施設管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	南信濃自治	課等名	南信濃自治振興センター		包含する細々目	1	7	1	4	18	1	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	18	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	飯田市が所有する観光施設	維持補修する観光施設数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			26				
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			26				
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	魅力のある観光地を目指す	整備された施設数	18目標	26	最終目標	26	
			18実績	26	19目標	26	↑ 最終目標達成年度
			23目標		23実績		
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑ 最終目標達成年度
		23目標		23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	観光施設の維持管理と登山道等の整備に加え、観光地のトイレの清掃業務。	<ul style="list-style-type: none"> 観光地トイレの維持管理 登山道等の維持管理 観光施設の維持管理 観光施設運営管理委託(南信濃振興公社) 観光案内所(アンバマイ館)維持管理 18年度の実績	対象観光施設	26
		<ul style="list-style-type: none"> 観光地トイレの維持管理 登山道等の維持管理 観光施設の維持管理 観光施設運営管理委託(南信濃振興公社) 観光案内所(アンバマイ館)維持管理 19年度計画	対象観光施設	26

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	244	234
	一般財源	37,305	29,033
	事業費計(A)	37,549	29,267
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 500
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	1,788
	トータルコストA+B	39,337	31,055

特定財源内訳や補足事項	温泉スタンド等使用料(200%100円)
-------------	----------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	観光事業を通じて交流の拡大	観光客数(140,000人)	現状値	140000	19実績	150000
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
観光施設を整備し、維持管理をしながら交流の拡大を図る。また、施設管理を通じて関係する諸団体の人材を育成し、地域資源を有効活用していく体制づくりを進める。	施設の管理には多額の費用がかかるが、観光客の快適性を求める声が高っており、今後観光地としての質の高さが要求される。	施設の管理には多額の費用がかかるが、地域に密着し、いかに少ない費用で高いサービスをおこなうかが今後の課題となっている。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	施設の維持管理について、地域住民が主体になってできるようにする。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	体制の整備が必要。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	